次世代エネルギー・半導体技術研究交流会

令和8年度 第2回 CSMISオープンセミナー

薄く、軽く、曲げられる。太陽電池が、暮らしを変える。



ペロブスカイト太陽電池の開発者

宮坂 力（みやさか つとむ） 先生

桐蔭横浜大学 医用工学部 特任教授

宮坂 力先生 ご講演　13:10–14:20

ペロブスカイト太陽電池の先端技術と将来展望

2026年12月25日（金）

講演会 13:00–16:45

岩手大学 教育学部1号館 北桐ホール

講演会参加無料・事前申込制

プログラム

13:00	開会挨拶
14:30	研究・技術紹介
16:00	パネルディスカッション
16:40	閉会挨拶
16:45	名刺交換会

申込締切：12月18日（金）　お申し込みは裏面をご覧ください

主催：科学技術イノベーションラボ グリーン表面界面ナノ工学ユニット（CSMIS）
岩手大学分子接合技術研究センター

ペロブスカイト太陽電池とは？

薄く、軽く、曲げられる。身近な場所が発電の場に。

太陽の光を電気に変える、新しい太陽電池です。
光をよく吸収する材料を使うため、ごく薄い膜でも発電できます。フィルム上につくれば、軽くて曲げられる太陽電池になり、建物の壁や重いパネルを載せにくい屋根などへの活用が期待されています。



講師紹介

宮坂 力（みやさか つとむ）先生

桐蔭横浜大学 医用工学部 特任教授／工学博士

1976年、早稲田大学理工学部応用化学科卒業。1981年、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。富士写真フイルム株式会社での研究開発を経て、2001年に桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授に就任。2017年より同大学特任教授。専門は光電気化学、エネルギー化学。2009年、ペロブスカイト材料を用いた太陽電池の研究成果を世界に先駆けて発表し、世界的な研究開発の出発点を築いた。その先駆的な業績から、ノーベル賞候補としても国内外で注目を集めている。次世代の太陽光発電技術を切り拓いた研究者として、現在も研究開発を牽引している。

主な受賞・栄誉

2024年　日本学士院賞、神奈川文化賞
2025年　NIMS Award
2026年　京都賞・先端技術部門、文化功労者

当日のプログラム

13:00–13:10	開会挨拶 山本欣郎（岩手大学学長）　芝崎祐二（グリーン表面界面ナノ工学ユニット長）
13:10–14:20	ペロブスカイト太陽電池の先端技術と将来展望 宮坂 力（桐蔭横浜大学 医用工学部 特任教授）
14:20–14:30	休憩
14:30–14:50	土砂災害対策用フレキシブル太陽電池シートの開発 大河原 正文（岩手大学理工学部 教授）
14:50–15:10	全無機型ペロブスカイト太陽電池の開発 阿部 貴美（岩手大学理工学部 准教授）
15:10–15:30	ペロブスカイト太陽電池用材料の受託評価と耐久性試験 枡田 剛（有限会社Q-Lights 取締役／岩手県花巻市）
15:30–15:50	岩手県の温暖化対策について（仮） 池田 享司（岩手県環境生活部グリーン社会推進課長）
15:50–16:00	休憩
16:00–16:40	パネルディスカッション
16:40–16:45	閉会挨拶
16:45–17:00	名刺交換会

参加・お申込み

講演会参加無料・事前申込制　定員180名様まで（先着順）

申込締切：2026年12月18日（金）

https://forms.gle/cBdxAn8hEWyfT1or8

参加申込みはこちら

会場：岩手大学 教育学部1号館 北桐ホール

お問い合わせ：岩手大学 研究・地域連携課
kenkyou@iwate-u.ac.jp

※プログラムは変更となる場合があります。